（別紙３）

# 公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | ハッピースマイル　西大島店 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年1月23日 | | ～ | 2026年2月1日 |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 31 | （回答者数） | 16 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年1月23日 | | ～ | 2026年2月1日 |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 8 | （回答者数） | 8 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年2月2日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | こどもの特性を丁寧に理解し、専門性の高い支援を安定して提供できている点が大きな強みであり、今後も専門性の深化と質の高い個別支援の継続が期待される | こどもの特性や状態に応じた専門的な支援を行うため、スタッフ間での情報共有や支援前後の打合せを徹底し、常に理念である一人一人に合わせた療育を振り返りを継続している | 地域の保育所や幼稚園、こども園との交流機会について、こどもに負担のない範囲で参加しやすい形を検討し、地域とのつながりを少しずつ広げていくことで、社会参加の経験を充実させていく |
| 2 | 視覚化され構造化された環境づくりや、こどもが安心して過ごせる空間の整備が高く評価されており、今後も環境面の工夫や快適性の向上がさらに充実することが期待される | こどもが安心して活動に集中できるよう、学習スペースと運動スペースを明確に分けるなど環境の構造化と整理整頓を日々意識し、見通しを持って過ごせる空間づくりに取り組んでいる | 家族支援プログラムや保護者同士の交流の機会について、参加しやすい時間帯や形式を検討し、保護者のニーズに合わせた情報提供や学びの場をさらに整えていく |
| 3 | 保護者との丁寧なコミュニケーションや日々の情報共有により、家庭と事業所が一体となって支援を進められている点が強みであり、今後も連携の質を高める取り組みが期待される | 送迎時や日々のやり取りを通して保護者とのコミュニケーションを大切にし、こどもの様子や支援の意図を丁寧に共有することで、家庭と事業所が一体となった支援を意識的に行っている | 非常時の対応力を高めるため、避難訓練や緊急時対応の周知方法を見直し、保護者にも分かりやすい形で安全対策を共有するなど、安心して利用できる体制をより強化していく |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 地域の保育所や幼稚園、こども園との交流機会が限られており、こどもが地域の中で他児と関わる経験を積む機会が少ない点が課題となっている | 専門的な個別支援に重点を置いているため、事業所内での療育が中心となり、地域交流や他機関との連携に割ける時間や機会が限られやすいことが背景にある | 地域の保育所や幼稚園、こども園との交流機会について、こどもに負担のない範囲で参加しやすい形を検討し、地域とのつながりを少しずつ広げていく取り組みが必要である |
| 2 | 家族支援プログラムや保護者同士の交流の場が十分に提供できていないため、保護者が学び合い・支え合う機会が少ない点が改善の余地として挙げられる | 保護者支援や家族向けプログラムの実施にあたりZOOMなどを活用し、多角的な形で開催できるような仕組みつくりを行う必要があると考えている | 家族支援プログラムや保護者同士の交流の場について、参加しやすい時間帯や形式を工夫し、保護者のニーズに合わせた情報提供や学びの機会をさらに充実させていくことが求められている |
| 3 | 非常時の訓練や安全対策の周知について、保護者が把握しづらい部分があり、安心感につながる情報提供や訓練体制の強化が求められている | 非常時対応や訓練の実施は行っているものの、保護者がその内容を直接見る機会が少ないため、取り組みが十分に伝わりにくく、周知の方法に工夫が必要となっている | 非常時の対応力を高めるため、避難訓練や緊急時対応の内容を保護者にも分かりやすく共有し、安全対策の見える化を進めるなど、安心して利用できる体制をより強化していく必要がある |